

討論

平成24年度 一般会計決算認定

賛成

勝幡駅前周辺整備事業などの継続事業とともに、統合庁舎整備事業、防災コミュニケーションセンター建設事業が行われた。また、市立保育園のガラス飛散防止・蛍光灯飛散防止事業や中学校体育館飛散防止フィルム張りつけ事業など、災害時の安全の確保にも努めている。

現在の政権の経済政策により我が国の景気は緩やかな回復にあるとはいえ、当地を取り巻く環境が、依然厳しいことには間違いない。市には、自主財源の確保増大の施策を第一に、既存の施策や事業の

再構築を試みるなどの歳出の抑制を図ることを要望する。

反対

庁舎統合問題は、合併当初の支所を中心に地域を活性化するまちづくりから方向を大きく変更しただけではなく、財政的に総額50億円を超える事業として今後将来にわたって市に過大な負担を負わず点でも大きな問題だ。

平成24年度は、国民健康保険料の値上げに続き、介護保険料が値上げされた。市は、経費削減で無駄を省くだけでなく、市民が必要とするところに予算をつけるべきだ。今後、合併特例が廃止され、財政的に厳しくなる中で、国の言いなりでなく、しっかりと発言し、市民を守る立場に立って、住民合意で事業を進めるよう求める。

おめでとうございます



下村一郎議員



加藤敏彦議員



加賀博議員



石崎たか子議員

平成25年4月18日に岡崎ニューグランドホテルで行われた東海市議会定例会総会および、平成25年5月22日に日比谷公会堂で行われた全国市議会議長会定期総会において、当市議会の石崎たか子議員、加賀博議員、加藤敏彦議員、下村一郎議員が15年以上在職し、地方自治の発展に対する長年の功労が認められ、表彰されました。

また、平成25年10月30日に東京都ホテルポール翹町で行われた都道府県議会議員および市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式において、下村一郎議員が市町村の議会議員として通算35年以上在職し、地方自治の発展に対する長年の功労が認められ、表彰されました。